

J R 連 合 JR西労組 良成

JR西労組 R西労組 田 原 情宣部長 中央執行委員長 (司会)

長から叱咤激励とJR西労組への期待が語られ、JR西労組の目指すべ き運動を確認する座談会となった。(文中は敬称略) た。前田顧問からJR西労組運動の原点を改めて伺うとともに、荻山会 稔氏(JR西労組顧問)を迎え、上村委員長とともに座談会を実施し

中央本部は、新春を迎えるにあたり、荻山市朗氏(JR連合会長)と前

業務に精励の組合員に敬意

うことで集まっていただきました。よ ざいます。新春に向けての座談会とい 早速ですが、2020年を振り返っ 本日はお忙しい中、ありがとうご

染症の収束が見えない中、感染の不 だいている組 合員の皆さんにあらため き、JR西日本グループを支えていた 安と闘いながら、業務にご精励いただ し敬意を表します。 先ずは、新型コロナウイルス感

年となりました。また、中間決算でJ ル大階段駈け上がり大会が最後の大 土)に開催した第23回JR京都駅ビ 2020年を振り返ると、2月22日

R発足以降初の経常赤字となり、JR で唯一堅持してきた年間臨給を見直 すなど、苦渋の決断を迫られた年と

ウイルス感染症の影響で、3月末から ル開発で働いていますが、新型コロナ が、ずつと続いていました。 る売り場も、お客様が入らず、従業員 状態でした。土産物を中心に扱ってい ち、ほとんど空気を運んでいるような 前田 やはり新型コロナウイルス感染 の人数の方がはるかに多いという状態 んでした。北陸新幹線も空席が目立 4月にかけては、全くお客様が来ませ 症が印象的です。私は、金沢ターミナ

改革前後の徹底した経費節減をつい JRの状況を目の当たりにして、国鉄 見ていただけに、収益が悪化していく 北陸新幹線開業から大変な活況を

上村委員長からありましたが、

直しは避けることは難しかったで な赤字決算であれば、年間臨給の見

しょう。一方で、かつて経費節減の



想定していませんで

発展させるためには、会社が存続して

いくことが大前提です。このことを、

問題は収支とは問題が違うかもしれ 和3年入社ですが、この間、阪神淡路 が、比較にならない深刻な事態が起こ ませんが、様々な経緯がありました 大震災、リーマンショック等、事故の

まさかここまで深刻 月、2月の段階で、 変さというのは改め う職種は、必ずしも な影響が及ぶとは て感じています。1 多くなくて、そこの大 たものだと思います。それを今後も であり、先輩・先人から受け継いでき

て最初の採用で、昭

忘れないで欲しいと願っています。

思い出してしまいました。

ていただいたみなさんに感謝をしたい と思います。医療関係は、かなり苦労 ん、エッセンシャルワーカーとして働い が、このコロナ禍でも、毎日安全・安 **荻山** 是非最初に触れておきたいの 定に努めていただいた職場のみなさ るんだなと改めてひしひしと感じてい

据えた判断だと理解していますが、

回の年間臨給の見直しは、将来を見 という年間臨給を死守しました。今 厳しい折衝の末、最終的に5・0ヶ月

1・5ヶ月が高いか低いかではなく、労

界などの状況を鑑みれば、よく取れた 使で決めたことが重要です。航空業

私が就職活動をしていた昭和

大事なことはJRと雇用を守ること

ち込み、赤字決算ではないものの、J うに感じられましたか。 R発足以降最低水準の利益となり、 が発生しました。この時も収益が落 9年には、大阪発の新型ノロウイルス 前田 私が委員長に就任した200 新型コロナウイルス感染症の影響で、 ボーナス)を見直しましたが、どのよ JR発足来初の経常赤字となり、J

とも思い出されます。

といった施策は、JRのマイナスイメー 環で実施した車両の塗装を一色にする

が発表され、経常利益が80億円でし

会社に入って少し経って、最初の決算 なるのかと思っていました。すると、 ずっと大赤字の国鉄が、本当に黒字に

出るんだ」って、みなさん驚いて、そこ た。今とは桁一つ違いますが、「黒字が

以降、赤字知らずで、利益を重ね

ジに繋がってしまい、失敗に終わったこ

2010春闘では年間臨給5・0ヶ月 きたからであって、今回のような巨額 前年比△0・3)で妥結しました。

いのか。厳しい状況の中、社員みんな のいい機会になると思っています。 が一丸となって、JRを守っていく一つ させない。そのためにはどうしたらい を守っていくことです。二度と倒産を 今大事なことは、自分達でこの会社

た。それは労使で作り上げてきたもの一て直視しないといけないと思いました。 り、雇用も安定し制度も充実しまし 国鉄から比べると、給料も高くな

ことが起こりうるということを、改め

は、私も想像しませんでした。こういう 雇用に心配が及ぶような状況になると うに赤字に転落して、経営の危機とか、 で来た筈です。だから、まさかこのよ てきたので、基本的には、右肩上がり

やこりナイフにとう、アニニ学助田子ファ正昕貞子を軽

3労組



くてはいけない、とい ならない、運行しな 禍でも働かなければ

されていると思いま

す。他産別と話をし

く感じるのが、コロナ

はないと思います。3数年間積み上 食い潰すとの分析は、決して大袈裟で スで行けば、5年で

策に取り組んでいます。まずは、この げてきたものがここまで 一気に崩れ 危機を乗り切らないと、次のステップ います。今回、JR連合挙げて緊急対 に進めません。特に資金繰り支援とし 入が減るとそのまま減益になってしま JR産業は、固定費が高いので、収

のは、一定安定して実は、JRという ましたし、他労組は いると認識はして が、公租公課では、社会保険料として

お二人の見解をお聞きし

行部は、私を含めた三役を中心に、支

以降、約1ヶ月にわたり、中央本部執 協議に応じる覚書にサインしました。

所以上を回り、対話を重ねました。管 部大会や分会代表者会議など、30カ

内部留保を吐き出

は、この赤字のペー ように、内部留保 が、これだけ収入が 誌にも書かれている 減ると、ビジネス雑 せと言っています 業運営をしている状況でした。 今回のコロナ禍で会社

て、公租公課の減免や猶予などに取り

色々な仕組みを勉強し、猶予などの支 りを再認識しています。 会保険の負担等、政治や行政との関わ 援継続に向けて、政府、関係省庁など だけに、資金繰りや公租公課など、 程度になります。やはり規模が大きい 0億円の猶予をしてもらってい に懸命に要請していますが、税金や社 あり、JR西日本は、この1年で約87 JRグループ全体だと、2,600億円 人100万円程度の会社負担分が います。

との理解が拡がらなかったことは、労

使の大きな反省点です。

その後9月9日に、年間臨給減額の

解雇を防ぐための最後の手段である

との声が出たほどでした。一時帰休が

分には一時帰休が当たらないのか!」

年休と同じ休みだと理解していた方々 基本給が保証されている」と説明し、 現場長の中には「年休と変わらない。 急遽一時帰休制度を導入したために、

いました。組合員からは「なぜ、自

組んでいます。冬のボーナスの見直しで

や周知方法が悪かったことも事実で、

人件費が約100億円下がりました

た感想

円の資金を調達して、何とかそれで事 り、半年あまりの間に約6,000億 金が一瞬にして消えるという事態とな から現

> りながらも変化が急激すぎて、会社の 理者を含め、多くの社員が、不安もあ

間臨給減額の決断は、困難を極めま 合員の感覚のギャップがある中での年 とを痛感しました。こうした社員、組 危機的な状況を実感できていないこ

した。JAL、ANAがボーナス1ヶ月

を守ることと、生活していくための賃 00へ引き上げを行ってきました。1 業手当60/100から100/1 ました。締結の際に、組合員等の雇用 り越えるために、休業協定を締結し え方をしていました。労働組合にも くの組合員が年次有給休暇と同じ捉 たことは良かったのですが、一方で、多 00/100の賃金補償を確保でき 金補償に拘り、労働協約に定める休 5月8日には、労使でこの難局を乗

す。幸い今、コロナ禍の中でも、組合員 せたくない、これが正直な気持ちです。

て難しい判断が求められました。胃の 社の発想とのせめぎ合いであり、極め くら払えるかというゼロスタートの会 金で手元の現金を確保しているため、い ら減額するかという組合の発想と、借 場観がない中で、2・69ヶ月からいく という報道もありましたが、全く相

痛む日々で、こんな経験は後輩にはさ

のみなさんには、安全第一で頑張って

安心にご利用いただける鉄道をPR いただいています。コロナ禍でも安全・

している中で、安全確保はいっそう重

社に繋いで、ここを直そうとか、適用し すいように、私たちJR西労組が、会 運用を見直して、現行制度を使いや 勤務や休暇などのさまざまな制度の 供がいる組合員は本当に大変でした。 学校が突如として一斉休校となり、子 対策を講じることから始めましたが、 染症の急拡大に対し、社員の感染防止 要になっているとも言えます。 ようとか、柔軟に対応しました。これ 触れますと、新型コロナウイルス感 「対立と協力」という話について少

出発点は

国鉄の失敗を繰り返さない」

は、まだ最初の決算が出ていなくて、 62年は会社が発足した年で、その時

りますが、「雇用の確保」を最優先に 面教師として、我々は、労働紛争では することです。労労紛争、労使紛争と 敗を繰り返さない、ということです。 で議論・対話ができるような労使関係 いう労働紛争に明け暮れた国鉄を反 すなわち、安全の担保が大前提にはな JR西労組運動の原点について。 労使が対等な立場で、是々非々 JR西労組の原点は、国鉄の失

け止められましたか。

する労働組合とするために、「対立と 御用聞きではなく、自分達から発信 がイエスマンになりかねません。会社の ともすれば、労使関係は労働組合

協力」を掲げて実践してきた自負があ 原点をお聞きして、お二人はどう受 りますし、先人先輩が守り続けてき たJR西労組の伝統です。 前田顧問からJR西労組運動の

歴史の上にある会社なので、コロナ禍 だけは守ると言い続けてきまり で、苦しい時ですが、何としても雇用 が、JR西労組の原点は、雇用不安を 万六千名の方が国鉄を去ったという 一度と起こさないということです。七 前田顧問からもありました

して、もう一つの原点は、安全であり二

度と悲惨な事故を起こさないことで一このことは、労使が対等な立場で、ヘ した。そ たから成し得たことだと思っています。 は、会社のJR西労組への信頼があっ